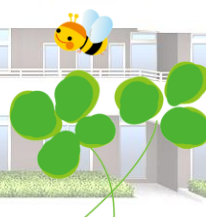




なごみ つうしん

2017年

VO.46



平成29年2月3日（金）『節分』を開催しました！



「鬼は外、福は内！」

2月の一大行事である節分を当施設でも慣行にならわせて頂いております。なごみに突如として現れた三匹の鬼『筋骨隆々！青鬼！』『人相が悪すぎる！赤鬼！』『人畜無害！黄鬼！』と、職員扮する鬼達を利用者様に和気藹々と退治して頂きました。皆様に喜んでいただけたなら幸いです。来年もお楽しみに！

今回は豆の変わりに落花生を用いたのですが、そもそもなぜ節分には豆をまくのかご存知でしょうか？
節分と言うのは旧暦において大晦日に当たり、一年の厄払いを兼ねていました。古来より日本には食べ物や動物、土地など様々なものに神が宿るという信仰があります（八百万の神々など）。豆にも魔よけの力が備わると考えた昔の人たちが、一年の無病息災を願うと言う意味合いを豆に込めたという説があります（※諸説あり）。

豆のほかに近年では恵方巻きの習慣も根付いて参りましたが、現代日本に登場したのはバレンタインよりも後の話で、実は新しい文化だったのです。

去年の厄は節分で払い落とせましたよね♪



知ってほしい！パークサイドなごみのこと（職種編）



当施設のような介護老人保健施設にはたくさんの専門職が在職しており、各部署ごとにも様々な職種に分けられています。ここでは、その専門職についてひとつずつご紹介していきます。

今回ご紹介するのは、管理栄養士についてです。

老健の管理栄養士は、利用者様の栄養状態の維持・向上のためのプランづくり、状態に合わせた食形態の設定など他職種と協同して行います。また厨房は委託会社が入っており、厨房職員とも連携しながら利用者様に安全で美味しい食事を召し上がっていただけるよう日々業務を行っております。普段は事務所におりますので、質問等ございましたら受付までおこし下さい。

3月3日は『ひな祭り』～内裏雛の左右～

なごみでも毎年七段飾りの雛壇を飾っております。内裏雛の左右は地域によって差があり、主に関西では男雛が右、関東では逆になっています。古来は『右が格上』の文化でしたが大正天皇が西洋の様式を組んだことをきっかけに男雛が左の文化が生まれました。



※画像は関西式



介護老人保健施設

パークサイド
なごみ

医療法人河和会

大阪市東住吉区公園南矢田3-19-12
tel 06-6606-2211
http://psnagomi.com